令和5年8月9日

大船渡湾内観測結果（No.5）

“今月の話題”
全ての定点で表層の水温が過去最高になりました。
また、2.5m層では2～3℃、15m層では1℃程度、過去の結果より高くなりました。

8月3日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

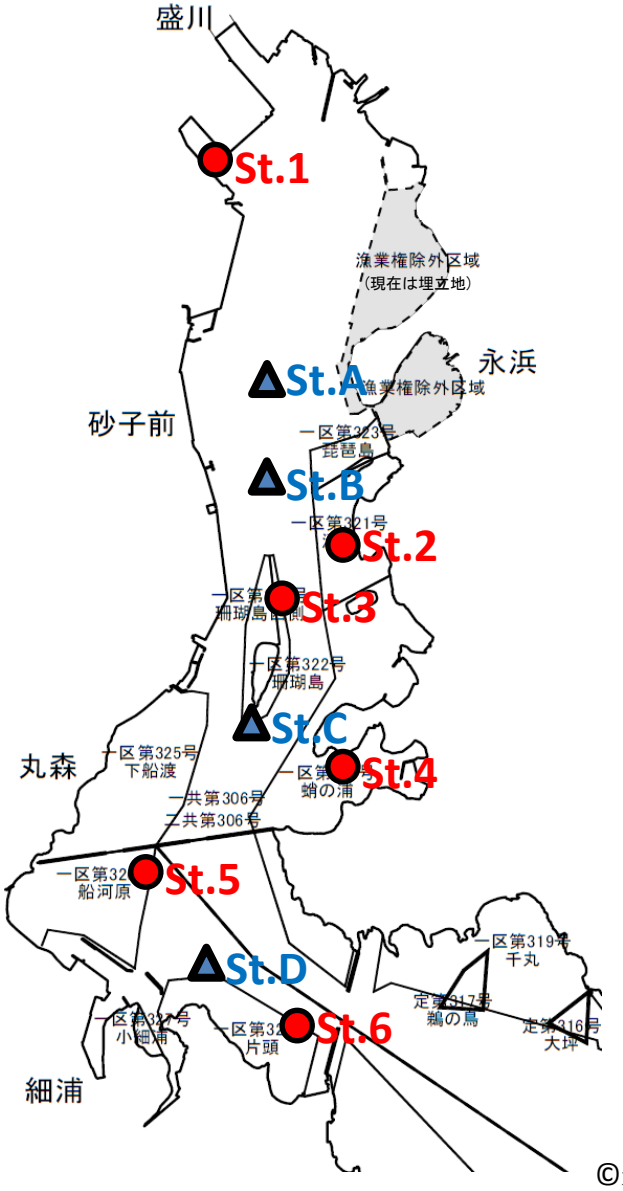
全ての定点において、表層の水温が25℃を超え、過去最高（2013～2022年度との比較）になりました。また、2.5m層では過去の結果（2013～2022年度の平均値）より2～3℃程度高く、15m層では過去の結果より1℃程度高くなりました。

水深が最も深いSt.6では、7月に引き続き、底層の溶存酸素飽和度が低くなっていました（31%）。

養殖生産物の管理には、当センター発行の「ホタテガイ養殖管理情報（高水温）」等を参考にしながら、水温等の今後の動向を注視しましょう。

海域名：大船渡湾
調査担当：水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点（St.）		1（湾奥）	2（清水）	3（珊瑚島）	4（蛸の浦）	5（船河原）	6（片頭）
観測年月日		令和5年8月3日					
観測時刻		11:01	11:15	10:43	10:28	10:17	10:01
水深（m）		9.0	22.9	28.3	16.9	26.4	38.0
透明度（m）		5.0	8.5	9.5	7.5	8.0	8.5
水色		9	5	5	5	5	5
水温（℃）	表層	26.5	25.9	26.7	26.2	26.1	26.1
	2.5m層	23.4	22.9	23.3	23.8	24.1	23.7
	10m層	－	20.9	20.9	20.7	21.1	20.8
	15m層	－	19.5	19.5	20.1	19.8	20.0
	底層	20.9	17.5	16.0	20.1	17.0	14.7
塩分	表層	30.55	31.58	30.54	31.34	30.92	30.70
	2.5m層	32.50	33.03	33.07	32.80	32.69	32.90
	10m層	－	33.41	33.42	33.45	33.49	33.50
	15m層	－	33.41	33.35	33.49	33.50	33.49
	底層	33.24	33.56	33.72	33.51	33.61	33.80
溶存酸素飽和度(%)	表層	127.5	118.5	123.6	117.8	120.9	119.3
	2.5m層	140.4	115.1	113.7	111.9	116.1	117.2
	10m層	－	121.2	127.2	118.9	114.8	115.2
	15m層	－	124.6	124.4	117.0	112.5	113.6
	底層	119.4	84.8	46.8	116.3	74.9	31.4

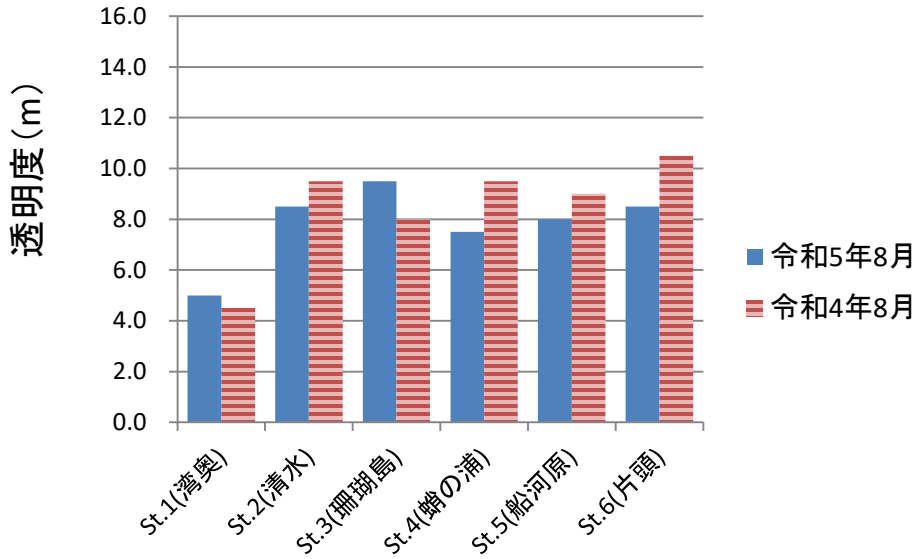


©岩手県（漁業権連絡図）

図1　大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6（○）において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
　St.AからSt.D（△）において表層0mから水深15mの水質を観測した。

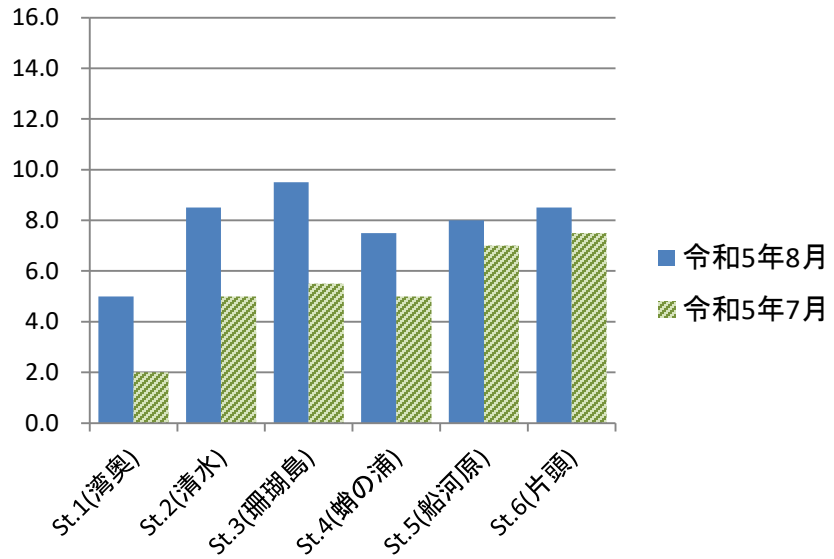
前年同月との比較



・St.1及び3で前年同月より高い

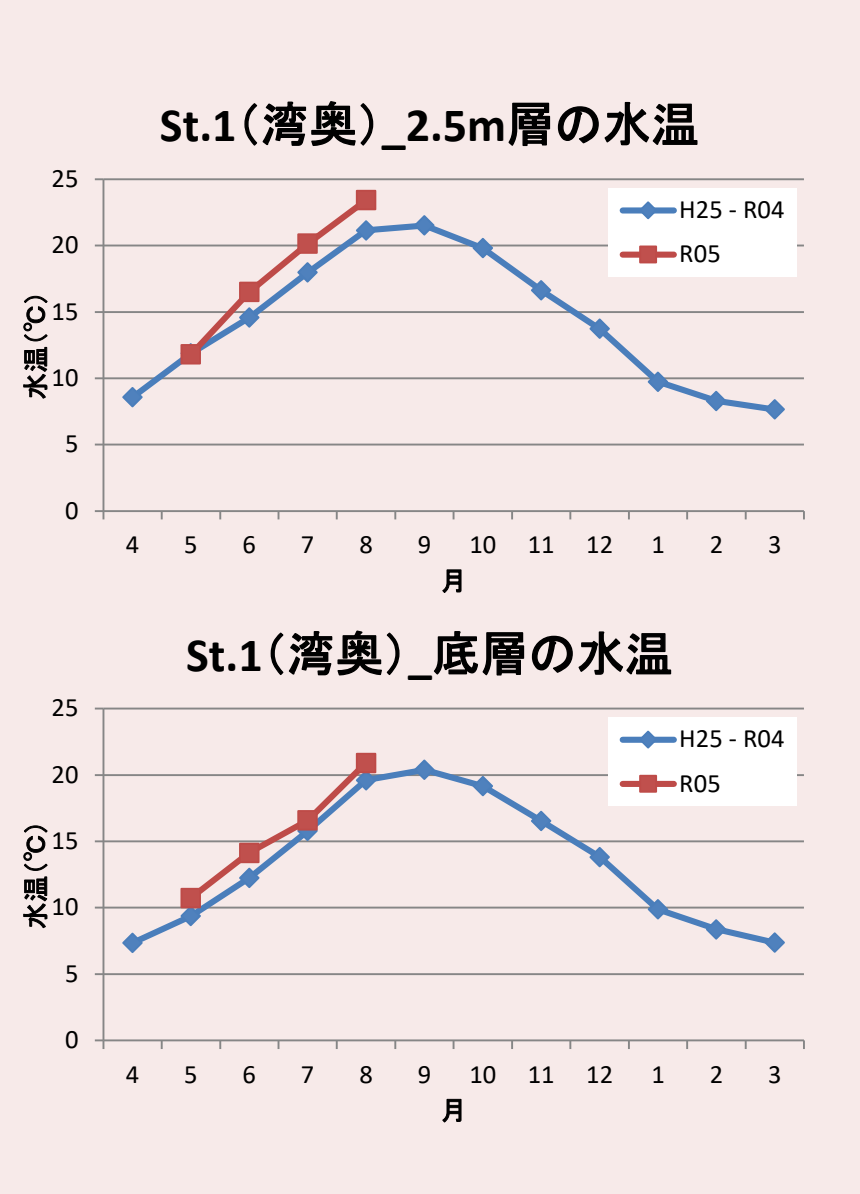
・St.2、4、5及び6で前年同月より低い

前月との比較



・全ての定点で前月より高い

図2　透明度の比較（前年同月、前月）



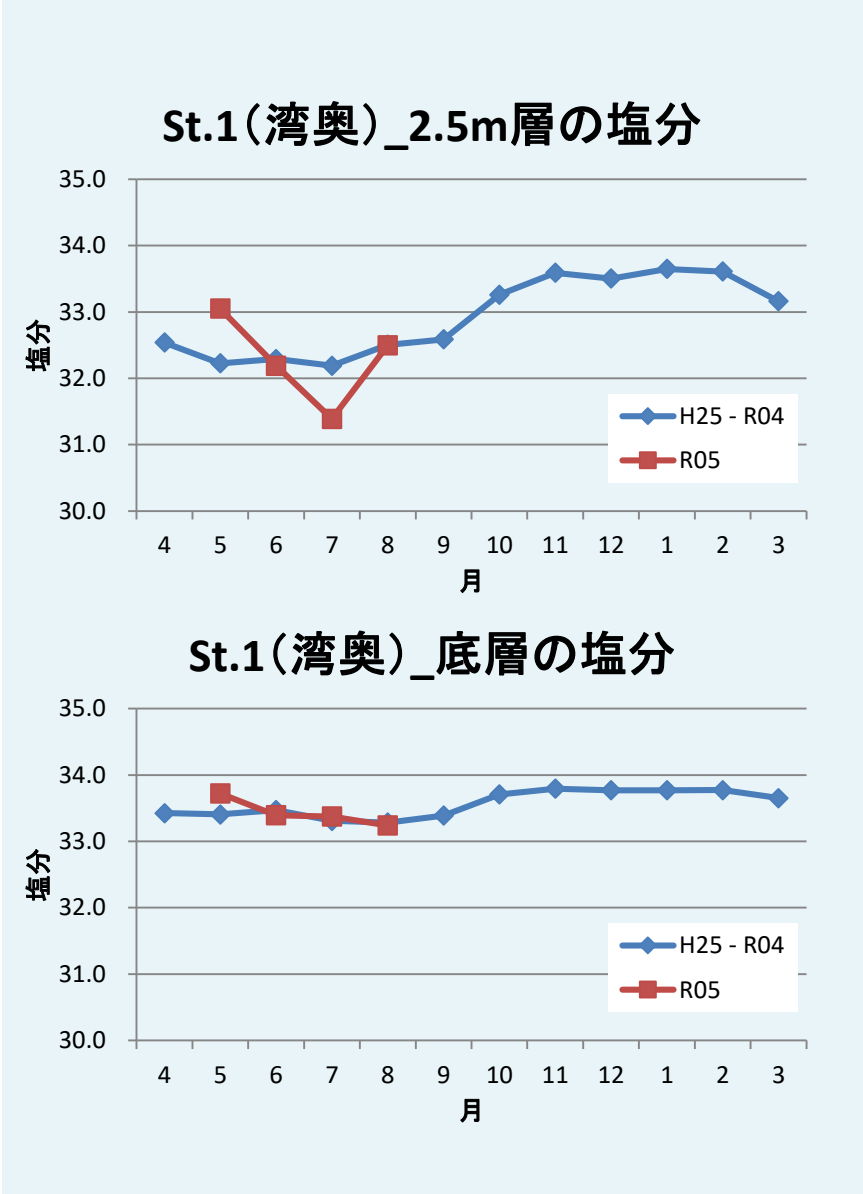
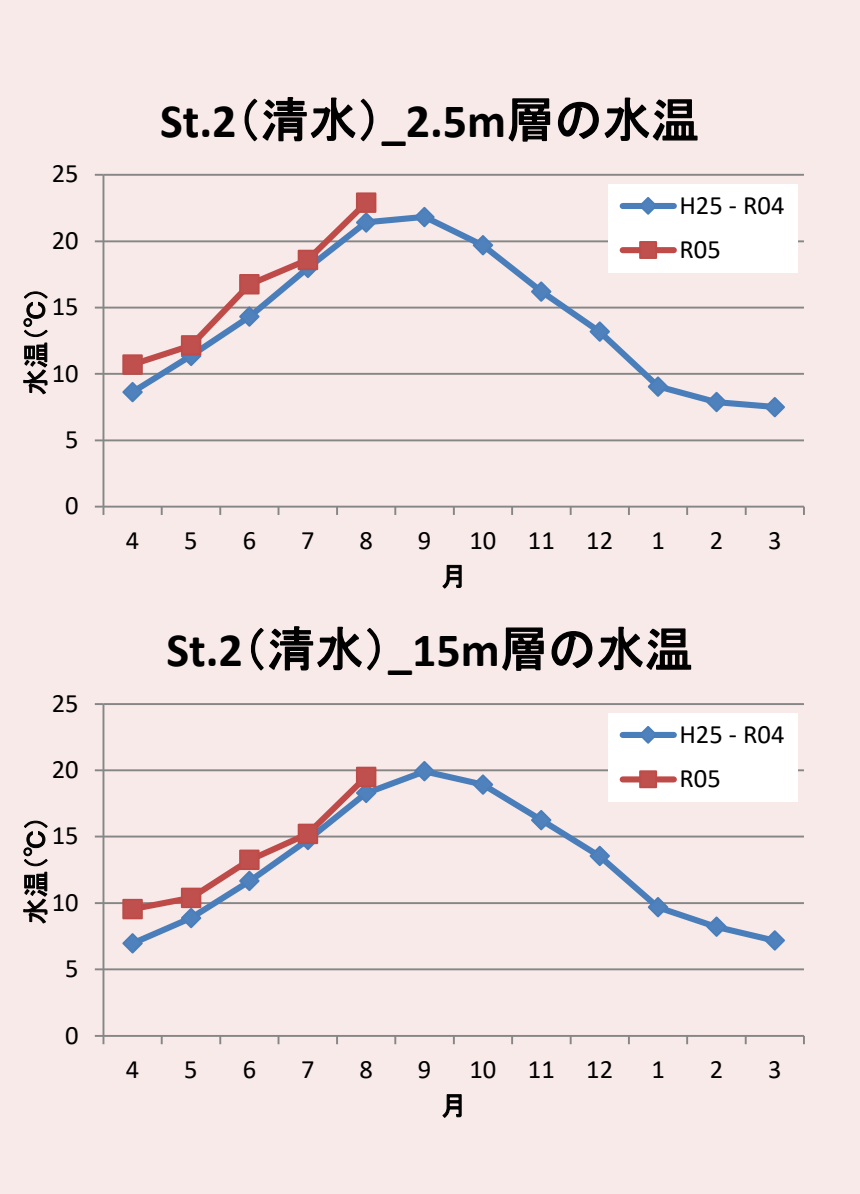


図3　St.1（湾奥）の水温及び塩分の推移

※St.1は水深10m未満



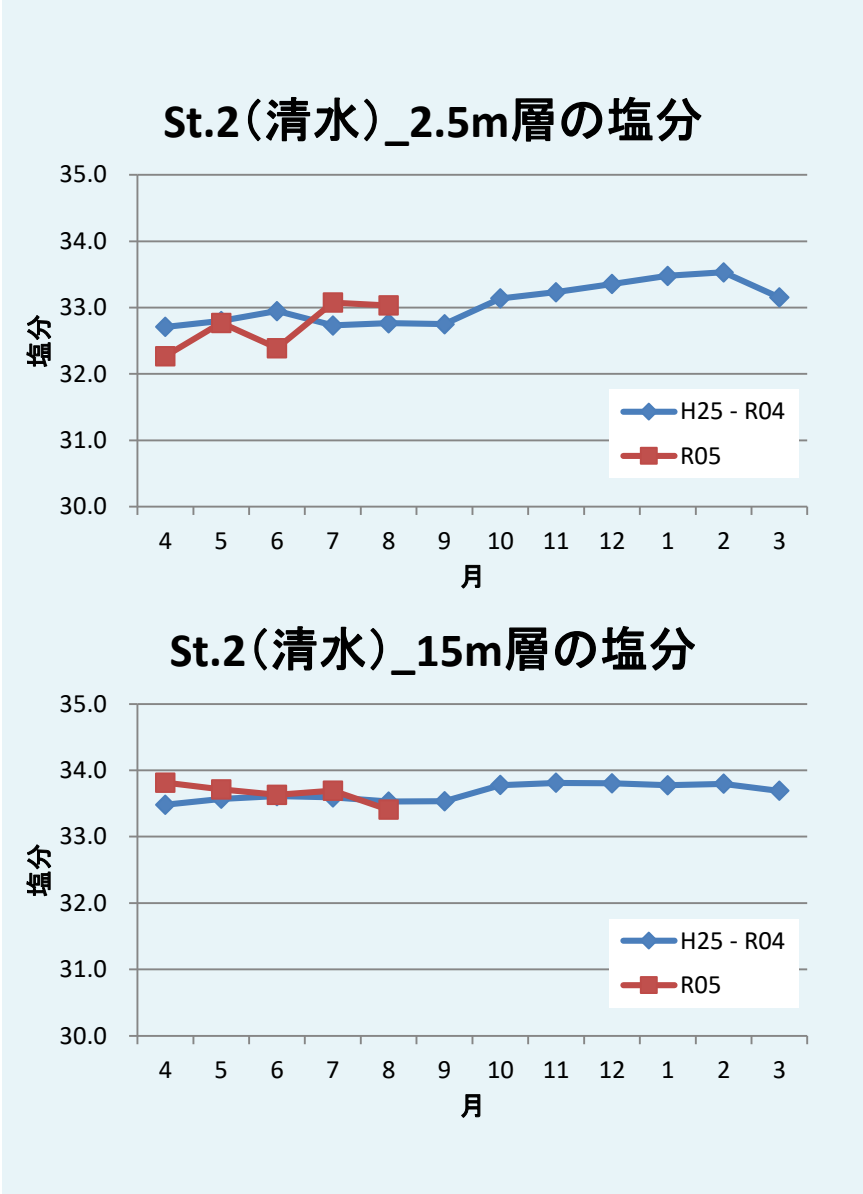


図4　St.2（清水）の水温及び塩分の推移

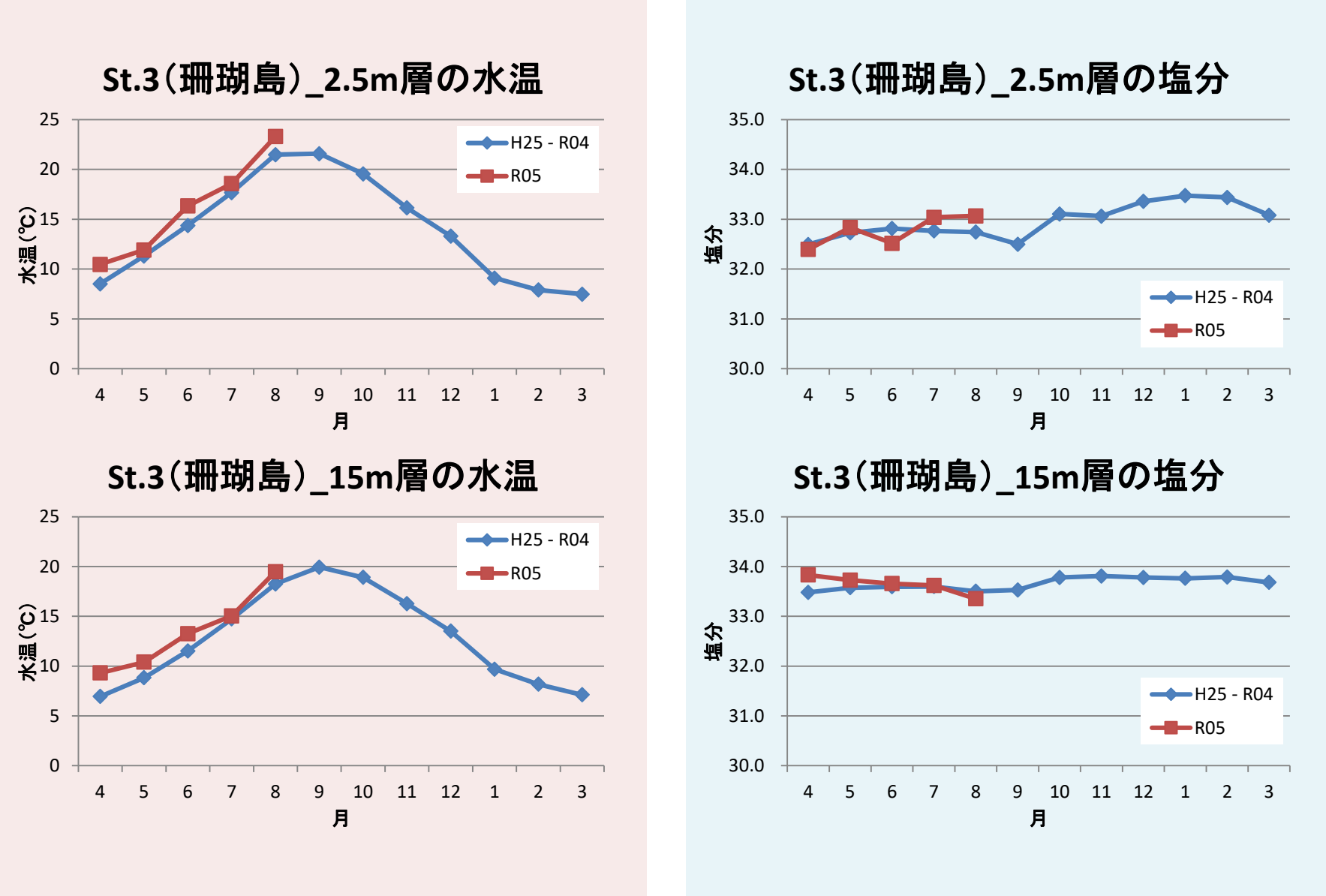
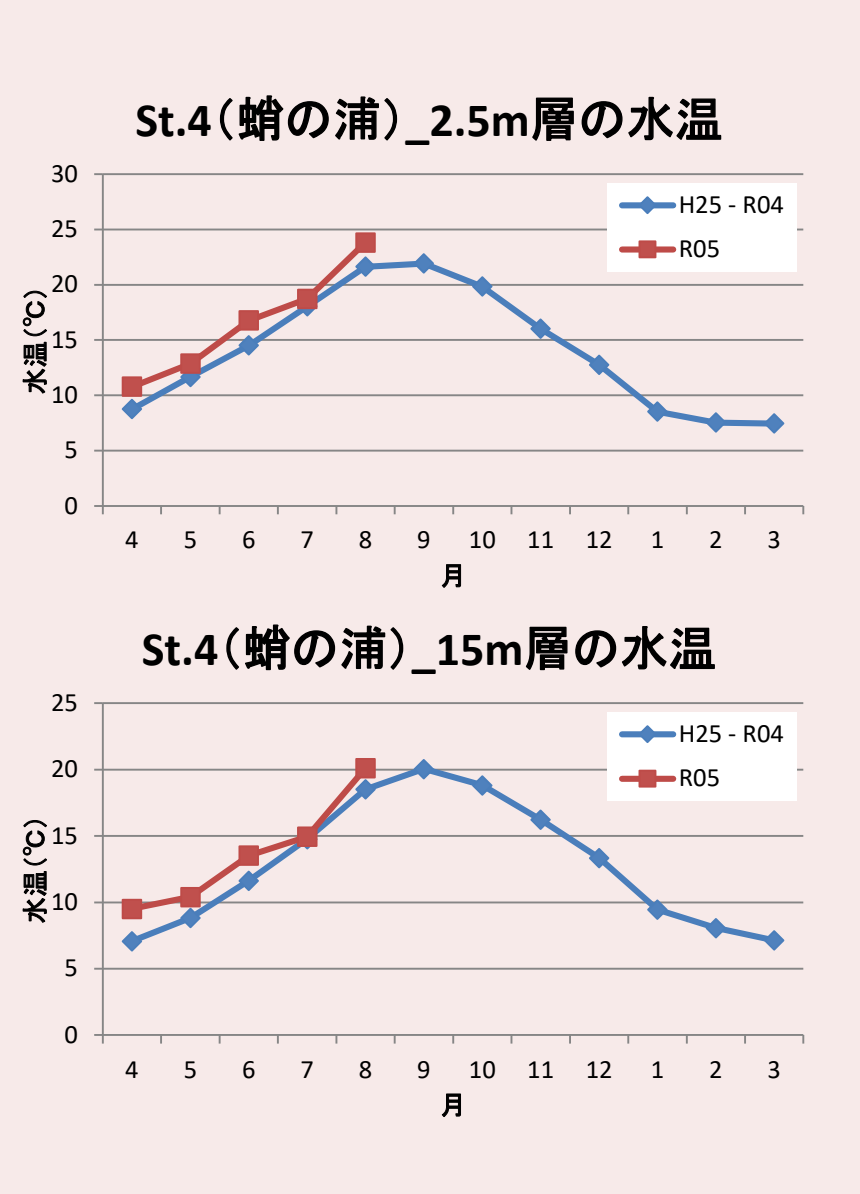


図5　St.3（珊瑚島）の水温及び塩分の推移



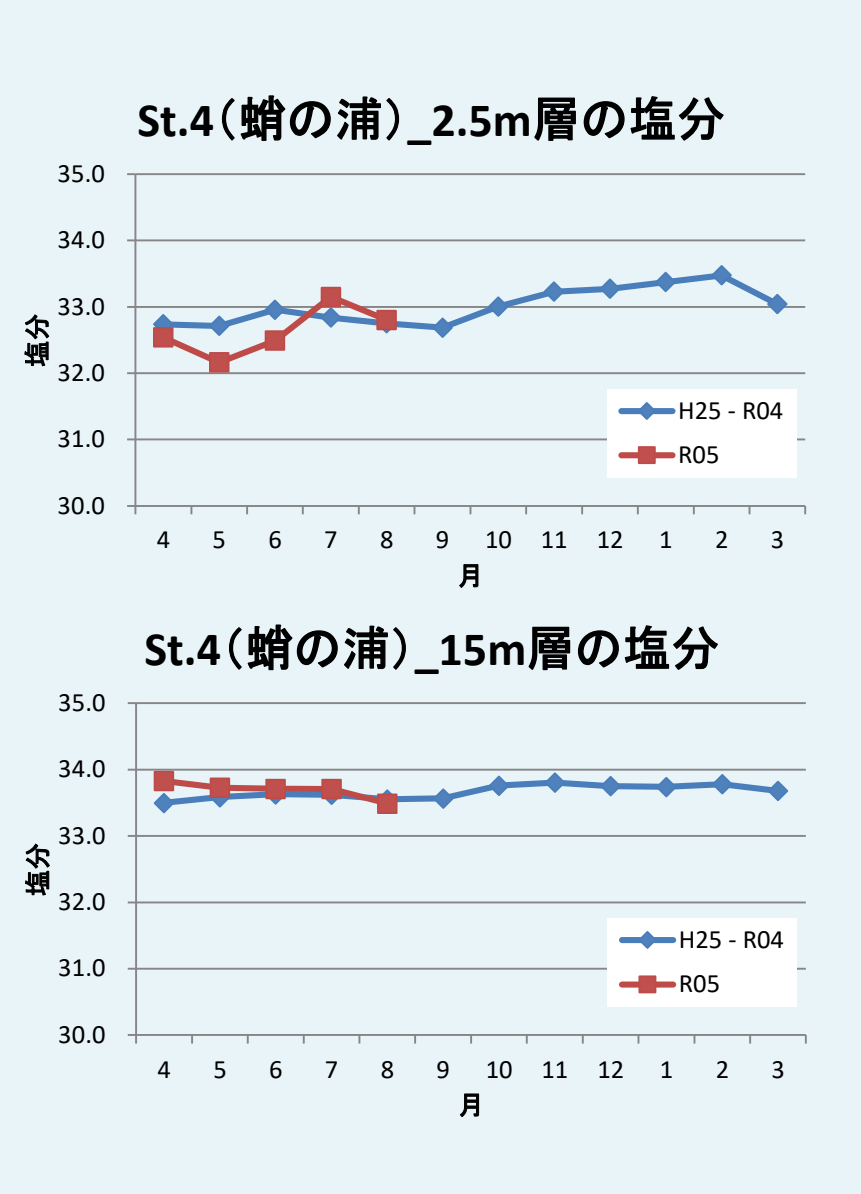
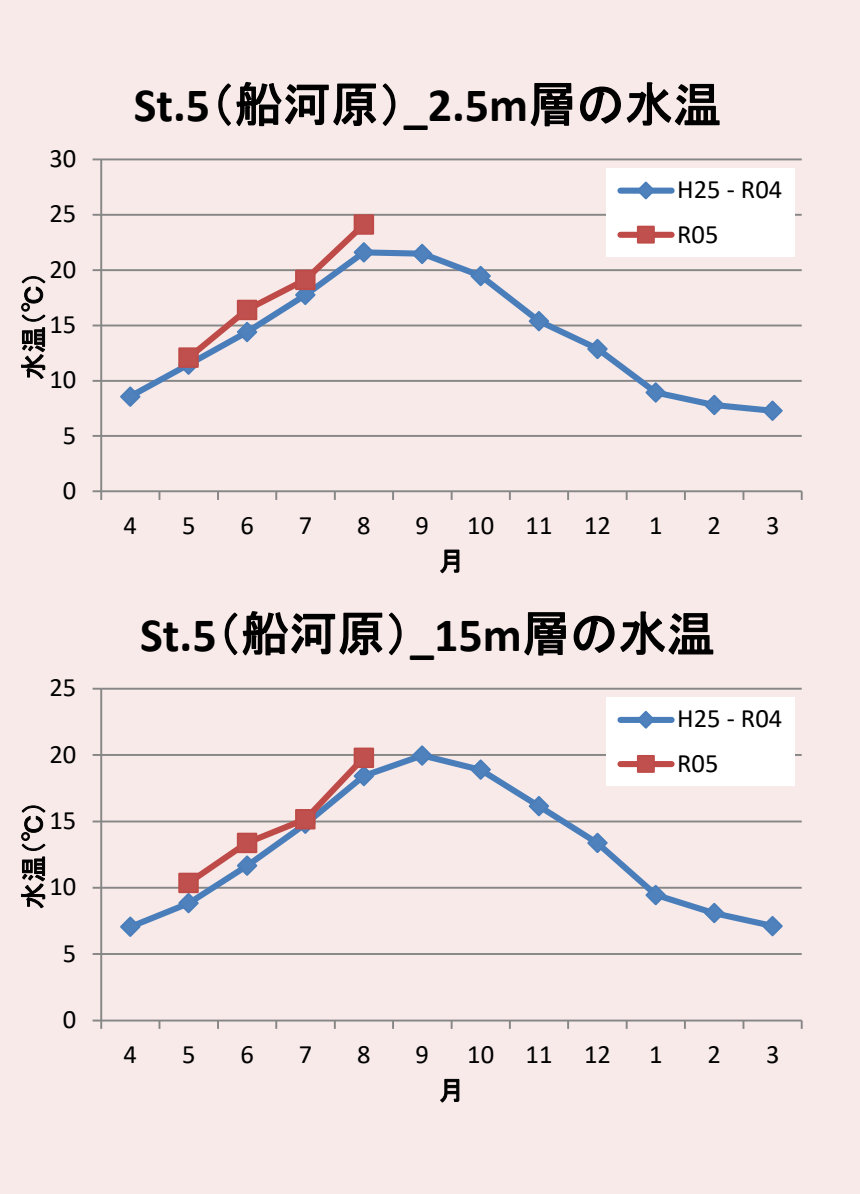


図6　St.4（蛸の浦）の水温及び塩分の推移



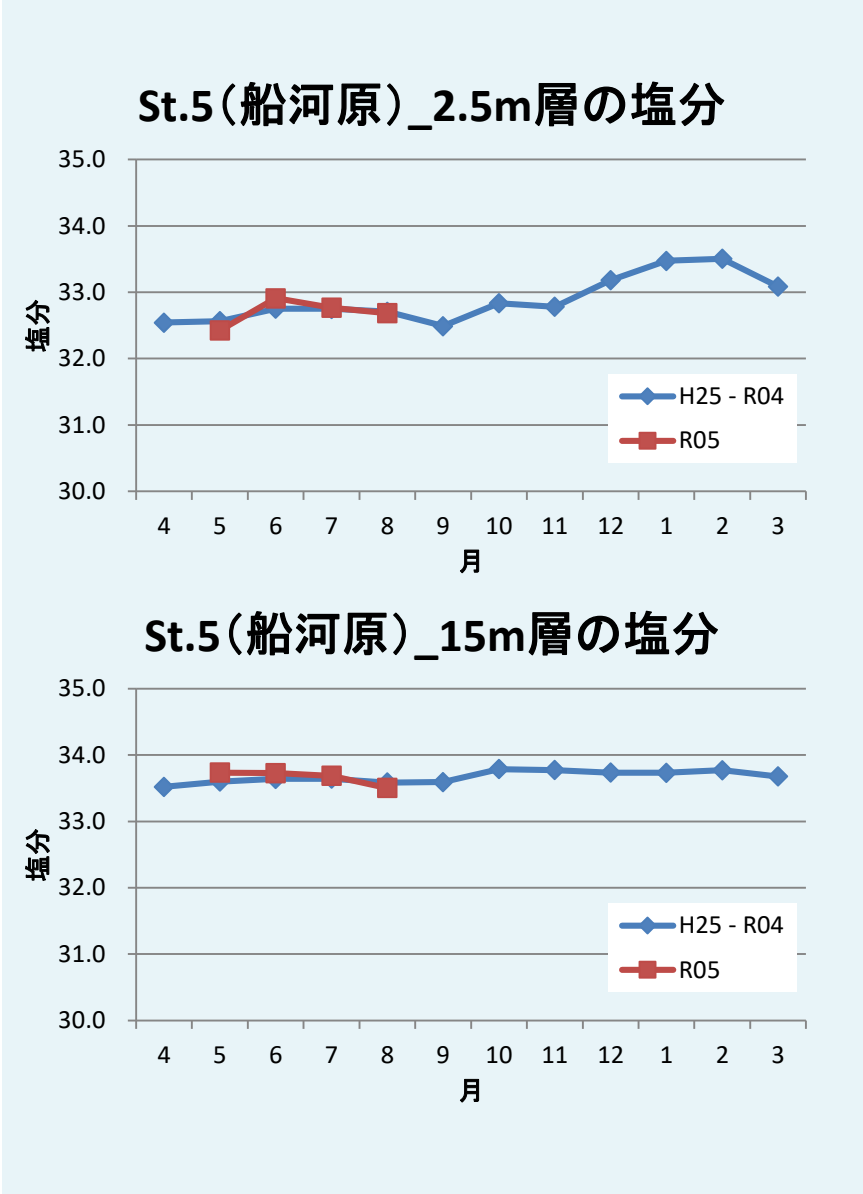


図7　St.5（船河原）の水温及び塩分の推移

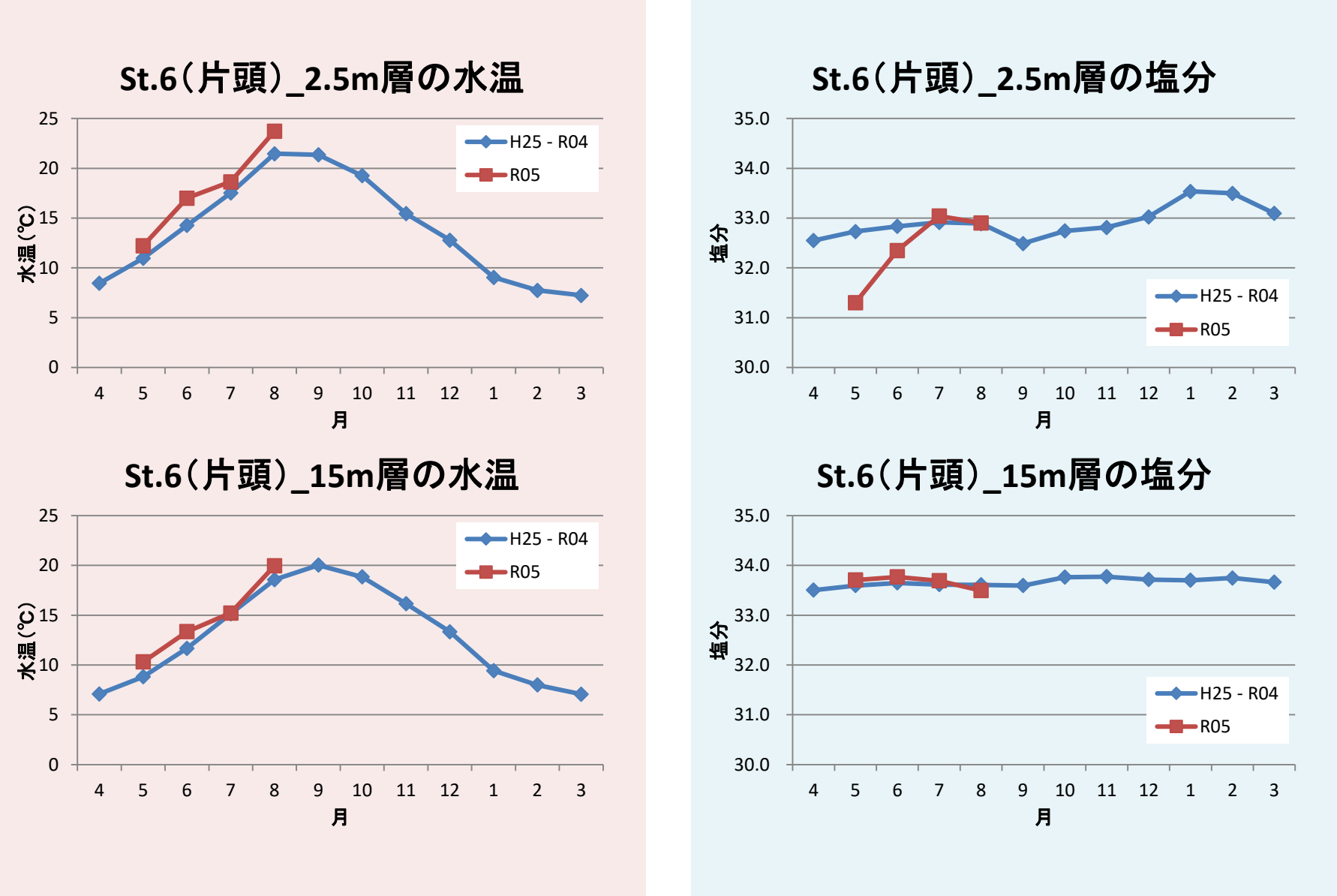
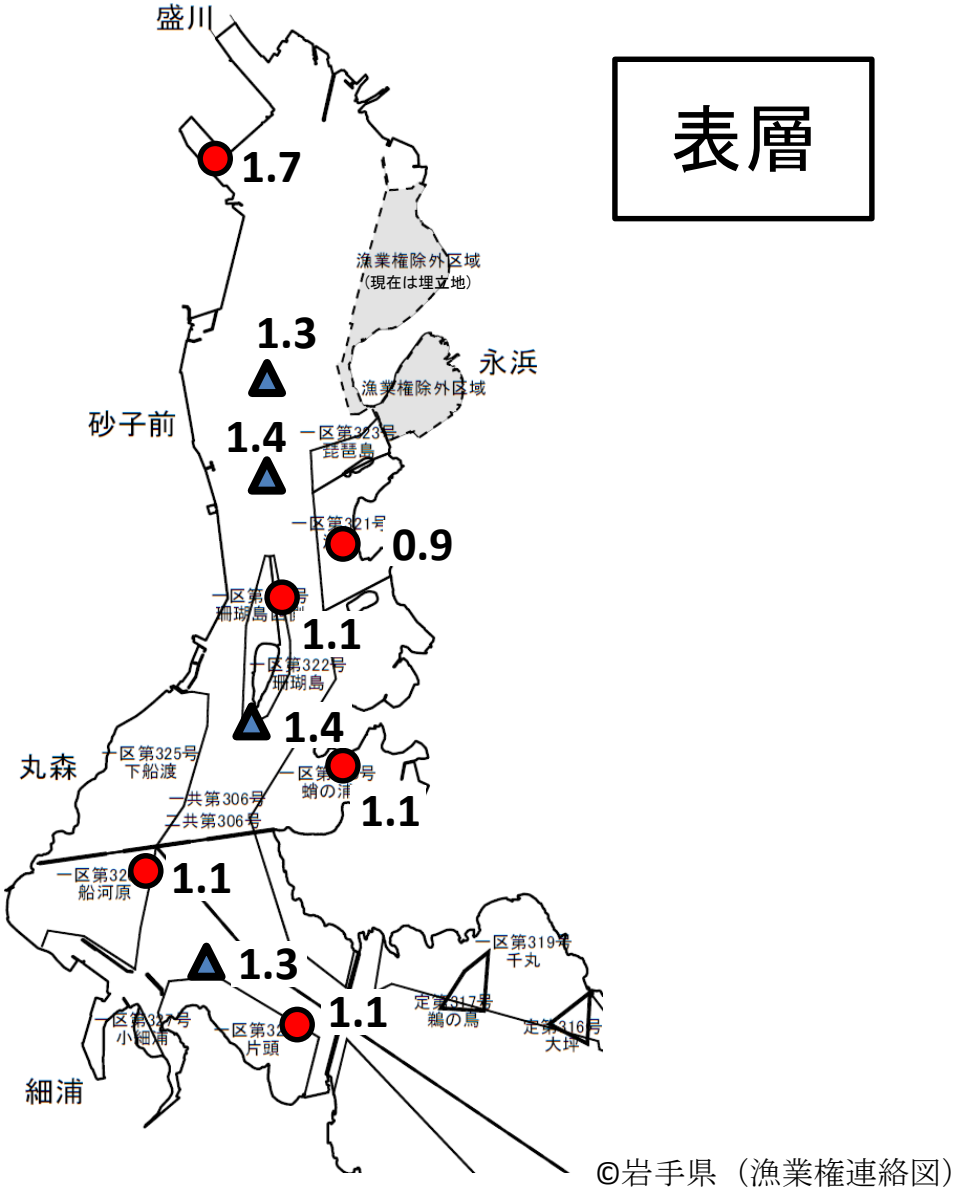


図8　St.6（片頭）の水温及び塩分の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図9　表層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。

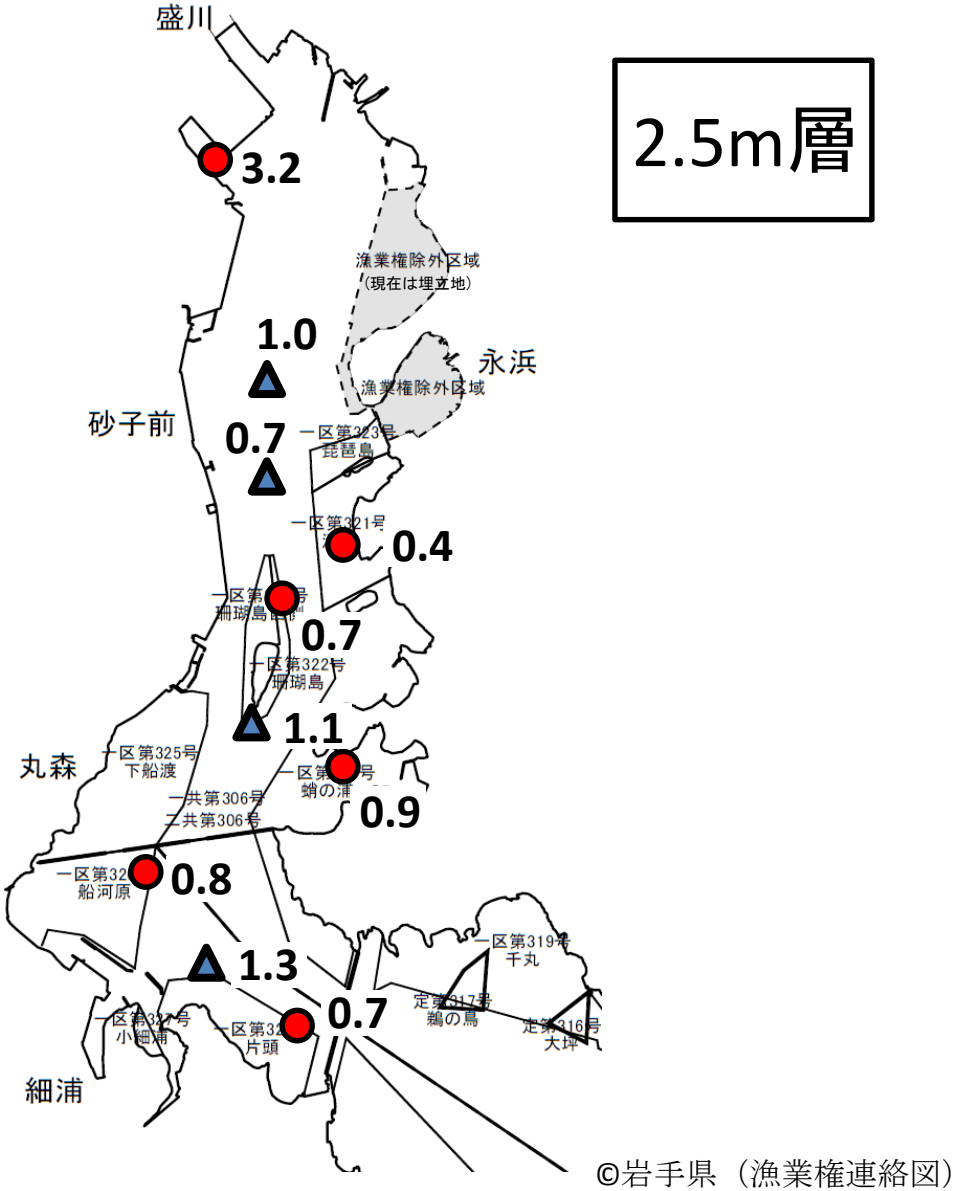
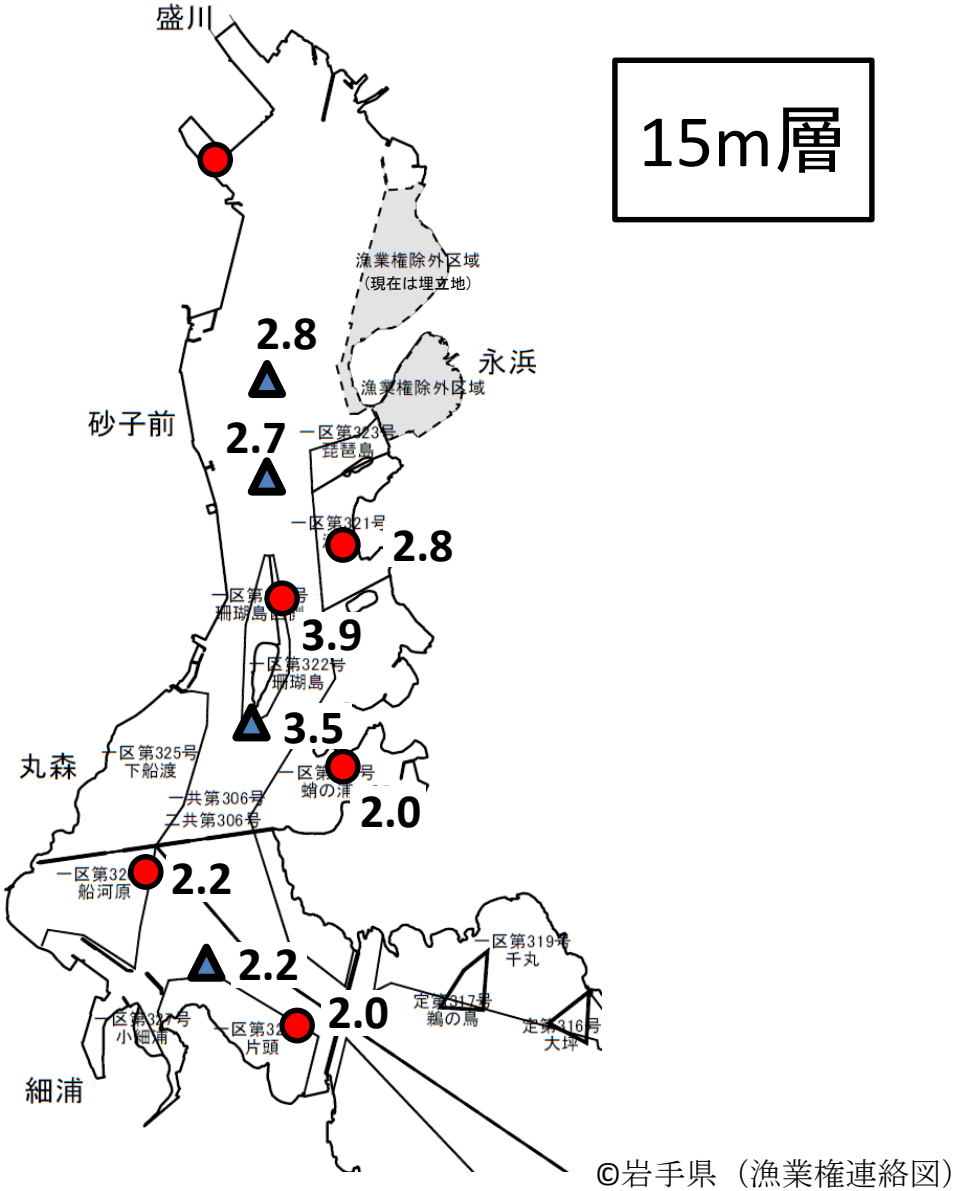


図10　2.5m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図11　15m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。St.1は水深約8mでした。